

豊上下水経 第307号  
令和 2年 6月30日

豊田市上下水道事業審議会  
会 長 竹内 信仁 様

豊田市長 太田 稔彦

適正な下水道使用料のあり方について（諮問）

本市の下水道事業の健全な経営を図るため、適正な下水道使用料のあり方について、貴審議会に意見を求めます。

## 諮 問 内 容

下水道は、快適で衛生的な市民生活や経済活動を支えるとともに、河川等の水質保全に寄与することにより良好な水環境を創出し、さらには浸水を防除することで市民の生命と財産を守るといった多面的で重要な役割を担っています。

現行の下水道使用料は、平成13年4月に改定して以来据え置いており、現状は下水道整備による下水道普及率の向上などにより下水道使用料収入は増加傾向にあります。しかしながら、近年では節水型機器の進化や節水意識の高揚などにより大幅な増収は見込めない状況にあります。また、一般会計においては法人市民税の一部国税化などにより税収が大きく減少しており、下水道事業への繰入金にも影響が及んでいます。

一方、近年は、下水道管路等の新規整備に加えて、施設の老朽化に対応した効率的で効果的な維持管理や更新事業の実施、施設の耐震対策や浸水対策など大規模な災害への対応といったさまざまな課題があり、下水道事業を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。

このような状況下においても、将来に渡り持続可能な健全経営を確立するためには、更なる経営基盤の強化に取り組む必要があります。

つきましては、次期下水道使用料の算定期間を迎えるにあたり、今後の健全な下水道事業経営に資するため、適正な下水道使用料のあり方について諮問します。